

駒込中 学校だより 9月号

令和8年9月1日発行

校長 山本 英行

豊島区立駒込中学校

豊島区駒込4-5-1

TEL 03-3918-2105

☆2学期の開始によせて・・・

夏休みを終え、2学期がスタートしました。夏休みの45日間・45個の積み重ねが、振り返るときに成長や自分の変化となり、各学年ともにたくさん心の動く「2学期」を支えてくれるものとなります。時間の感覚を大切に、中身の詰まった2学期の日々を目指し、皆で努力していきたいと、始業式でも伝えたいと思っています。自分自身の考えを有し、人とのかわりの中で自らの実践を進めていく力を育て続けてほしいことに変わりはありません。学校生活の区切りでもある今、流されずに行動していく決意を期待しますし、私自身そうありたいと思っています。



この2学期は、様々な行事をはじめ、3年生は進路選択の中で、これからの自分自身を考え、社会とかかわり生活していく力を培う時期となります。自ら大切なものを掴んだ実感をもてるように、駒中生全員で良きスタートを切りましょう。

☆9月1日は防災の日…



この夏休み中にも、熊本の地震災害、千葉県の高雨災害、関東地方の地震、石川・富山の豪雨災害と、様々な災害がありました。皆さんも防災について、助けあう心、そして「命」について考えを深めたことと思います。

9月1日は、関東大震災発災を忘れない日として、防災の日となっています。これまで私には、防災の日や、東日本大震災発災の日を迎えると、いつも思い出すエピソードがあり、ここでも紹介したいと思います。

過去に私が担任の先生だったある日、避難訓練が行われました。通常に整列、点呼、校長先生の話と進み、解散となった瞬間、ある先生が全校生徒の前に進み出て、烈火のごとく訴えました。「避難訓練中、ポケットに手をいれていた生徒がいた！ どういうことかわかるか。普段自助意識無く、考えなく行動している人がいると、実際に災害に遭ったとき、その人がけがをしたり、取り残されたりする！ そしてその人を助けるために、さらに数人の人の命が危険にさらされることになるのだ！ それは人の命をないがしろにすることだ！」

真剣なまなざしで訴えるその先生は、東日本大震災の時被災地の学校で勤務し、まさに筆舌に尽くしがたい状況の中で、生徒たちや地域の人たちの「命の現場」を目の当たりにしていた人でした。忘れられません。

皆さんも避難訓練や防災行事に関して、自分は真剣に「自他の命」と向き合っているであろうかと、自分自身に問うてみてください。

[illegible]

☆これまでの表彰(個人名略)

・第76回 社会を明るくする運動 作文コンテスト 地区優良賞 **個人名**

・吹奏楽部 第66回 東京都中学生吹奏楽コンクール B組 銀賞

・バスケットボール部 男子 第19回サンライズカップ 優勝

最優秀選手賞 個人名 優秀選手賞 個人名 ・ 個人名

・さくらポストカードイラストコンテスト 2026

準グランプリ 個人名

織田博子賞

個人名

牧野記念庭園賞 **個人名**

利用者賞

個人名

全国学力・学習状況調査の結果より

4月に文部科学省が全国の中学3年生を対象に学力と学習状況の調査を行うために「全国学力・学習状況調査」を実施しました。生徒一人一人の結果は、7月に行われた三者面談で配付させていただきました。

<学力調査>

国語・数学・英語の3教科とも全国平均を上回り、特に数学・英語で高い結果となりました。問題別に見ると、数学では数学的な根拠を捉える問題、英語では物語を読み取る問題や、学校生活について英語で説明する問題などで高い正答率が見られました。一方、自分の考えやその理由を文章で表現する問題などには課題も見られました。今後も、身に付けた知識や技能を活用し、「自分の考えをもち、根拠をもって表現する力」を育てる授業づくりを行っていきます。

<学習状況調査>

生徒質問紙からは、「自分と違う意見について考えるのは楽しい」は91.3%(東京都79.4%)、「人と違う意見を言っても否定されない」は91.3%(東京都68.5%)でした。さらに、数学の授業で「どのように考えたのかについて説明する活動を行っていた」と回答した生徒は89.2%で、東京都平均59.9%を29.3ポイント上回っています。これらの結果から、学校全体で取り組んできた「発信力の育成」の成果が、生徒の意識や授業での姿に表れています。今後も、自分の考えをもち、互いの意見を尊重しながら、考えを深め、発信することのできる生徒の育成を進めていきます。一方、「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と回答した生徒は43.5%で、東京都平均70.3%を26.8ポイント下回りました。自分たちも地域や社会の一員であるという意識をもち、身近な課題に目を向け、自分にできることを考え行動する力を育てていくことが、今後の課題の一つです。

本校では、地域と連携した様々な教育活動やボランティア活動を行っています。今後も、こうした活動を大切にしながら、授業等で培った「発信力」を、地域や社会と関わり、実際に行動する力へとつなげ、行動することのできる「真の実践力」の育成を進めていきます。

... ○ ... ○ ... ○ ... ○ ... ○ ... ○ ... ○ ... ○ ... ○ ... ○ ... ○ ...

サマースクール学習ボランティア

中学1、2年生の有志ボランティアが仰高小・駒込小に出向き、小学校1年生から3年生の学習の支援を行いました。小学校の先生からは「中学生の温かい声かけによって小学生はいつもより集中して取り組んでいた」「ぜひ来年もお願いしたい」とのお言葉をいただきました。誰かのために自分から行動することも、大切な学びの一つです。ボランティアとして参加してくれた36名の皆さんありがとうございました。

夏季補充教室 無事終了

英語・数学で夏季補充教室を実施しました。教科担当や学年教員だけでなく、いつもお世話になっているチューターの先生や大学生の皆様にもお手伝いいただき、夏休みの宿題を中心に1学期の復習を行いました。分からないところをすぐに質問できる環境の中で、生徒たちはそれぞれのペースで学習に取り組んでいました。暑期中、参加した皆さん、よく頑張りました。

... ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ...

「第76回 社会を明るくする運動」地区大会 「夏の音楽会」

8月1日(土)、本校体育館で、第76回 社会を明るくする運動地区大会「夏の音楽会」が開催され、区長をはじめ、多くの地域の皆様にお集まりいただきました。本郷中学校・高校の日本文化部による琴、三味線の演奏に続き、本校吹奏楽部がコンクールの曲などを披露し、会場を大いに盛り上げました。音楽会の後には、プールの水を利用して参加者の皆さんで打ち水を行いました。地域の皆様と一緒に夏のひとときを楽しみ、校庭には心地よい涼しい風が流れていました。

